

歩こうかい 11 月例会(通算 387 回)



中山道をあるく ⑥



落合宿～馬籠宿

2023 年 11 月 15 日(水)

天気:曇りのち晴れ ・参加者 13 名 <15,000 歩>

JR 落合川駅…落合宿高札場跡…医王寺…石畳の道…新茶屋の一里塚…新茶屋…「是より北木曾路」の碑…

正岡子規句碑…島崎正樹翁記念碑…馬籠城跡…もみじ公園…馬籠宿散策…馬籠バス停==JR 中津川駅前

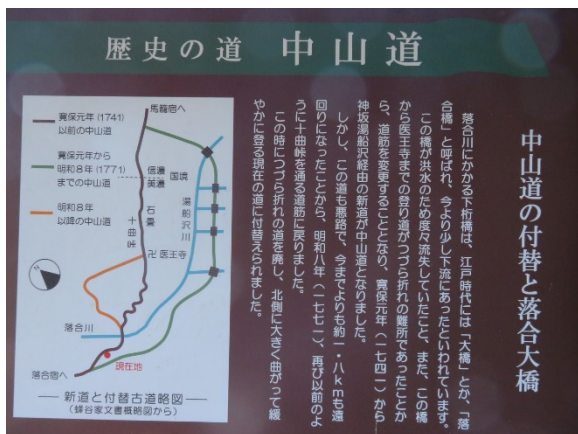
今回は 5 月例会と同じ落合宿を出発点とし、中山道を反対方向に馬籠宿まで、上りが続く木曾路を歩くコース。JR 落合川駅を出てダム湖を眺めながら村瀬橋を渡り、1Km 程歩いて中山道に入ると落合宿高札場跡に着く。落合宿と馬籠宿を結ぶ中山道の峠が十曲峠(じつきょとうげ)で、歩き始めに急坂が続くため、ここで着衣を整え心の準備をして出発。落合川を渡り、つづら折りの坂をゆっくり 30 分程進むと医王寺に着き、しばらく休憩し息を整える。本尊の薬師如来は行基(ぎょうぎ)の作と伝えられる。



村瀬橋を渡る



落合宿高札場跡



十曲峠の標柱と案内版



医王寺で休憩

さらに進むと全長 840m の落合の石畳があり、木々に囲まれ趣のある雰囲気を楽しみながら歩みを進める。



長い石畳をゆっくりと歩く

石畳を過ぎると、多くの旅人で賑わった当時の面影が復元されている立場・新茶屋に到着。一里塚跡、美濃と信濃の国境の碑、島崎藤村の筆跡で刻まれた「是より北木曾路」の碑が建っている。

昼時になり、マレットゴルフ場の休憩所で昼食を楽しむ。



昼食風景



国境の碑



是より北木曾路の碑

のどかな山村を進み、正岡子規の句碑、馬籠宿が舞台の小説「夜明け前」の主人公青山半蔵のモデルとなった島崎藤村の父・島崎正樹翁記念碑を経て馬籠城跡を過ぎると馬籠宿に入る。



正岡子規の句碑



諏訪神社入口に建てられている島崎正樹翁記念碑

公園の紅葉は盛りを過ぎていたが、もみじをバックに集合写真を撮り、馬籠宿入口の茶屋で歓談の後、観光客で賑わう宿場を散策。14時50分の北恵那交通バスで中津川駅に向かいJRで帰路に就く。 記：奥村正忠



もみじ公園



馬籠宿



樹形